



NiFA NEWS

謹賀新年

“サッカーファミリーと心をひとつに”

挑戦・更なる飛躍!



公益財団法人 日本サッカー協会
会長 田嶋 幸三

新潟県のサッカーファミリーの皆さま、新年いかがお過ごしでしょうか。
糸魚川の大火で被災した方々には心からお見舞い申し上げます。一日も早く復旧し、新しい生活がスタートできますことを心から祈っております。

「世界基準」「育成日本復活」「女子サッカーの振興」「47 F A の自立的発展」といった指針を掲げて会長に就任し、もうすぐ一年が経とうとしています。進行度合いは施策毎に異なるものの、多くの皆さまのご理解の下、順調に歩みを進めているのではないかと思います。

昨年末に開催された F I F A クラブワールドカップは、鹿島アントラーズがオセアニア、アフリカ、南米の大陸王者を破る快進撃を見せ、アジア勢初の決勝進出を果たしました。欧州王者 I I 回を誇るレアル・マドリードを相手に激闘を演じ、延長戦に持ち込む展開に、残念ながら 4 - 2 で敗れましたが、近い将来、J クラブや日本代表が世界大会で優勝できる日が来るのではないかと考えるような素晴らしい戦いを見せてくれました。

た年だったと思います。

アジア最終予選を戦っている S A M U R A I B L U E (日本代表) はグループ 2 位で前半戦を終え、3 月のアウェイ戦に向けて強化を図っています。後半戦はホームが 2 試合、ア



一般社団法人 新潟県サッカー協会
会長 柄沢 正三

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては佳い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

ご挨拶に先立ち、昨年末に糸魚川市で起きた大きな被害をもたらしました。翌日、現地に入りし状況を確認いたしました。損害の大きさに愕然とするの

さて、当協会は理事及び専門委員会等の委員の皆様、連盟・地区協会の役員並びに委員等多くの皆様のご尽力により事業を遂行してまいりました。また、多くのサッカーファミリーの皆様のご支援、ご協力を得て、事業の拡大発展と充実が図られ

ウエイが 3 試合、しかも最後が強敵・サウジアラビアとのアウェイ戦です。しかし、前回のサウジアラビア戦で見せた闘志と集中力を以てすれば必ず結果はついてくるはずで

てサポートしていく考えです。

新潟のサッカーも女子が躍進しました。いわて国体で新潟県が愛媛県と共に優勝。皇后杯では、アルビレックス新潟レディースが 2 大会連続で決勝に進出しました。残念ながら優勝は次に持ち越されましたが、これらの結果から、新潟は女子サッカーをけん引する存在

おきまして、本県選手団は、女子第 1 位、成年男子第 4 位、少年男子第 5 位をもってサッカー競技総合優勝という輝かしい成績を残しました。これは、普及・育成・強化という目的と活動が各年代に連動して遂行されてきた関係各位のご尽力の賜物であり、心からお祝い申し上げます。

フットサルで、新潟県は全国屈指の強豪県であります。U - 15 年代の全国大会での活躍はご承知のとおりでありますが、出場している各選手が成長し、帝京長岡高校として U - 18 大会で全国優勝を遂げました。これもまた、年代を繋ぐ関係各位のご尽力の賜物であり、活動であります。

練習から試合の全てを盛んで、サッカーとバスケットボールのプロチームを擁する新潟は、日本のスポーツ発展の翼を担っているといいたいでしょう。

今年も新潟県サッカー協会の皆さまと共に、県民の皆さんに勇気と希望をお届けできるよう全力を尽くしていきます。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

浦新監督、辛島監督率いる両チームはこれから更に新潟県サッカーを代表するチームとして県民の夢を背負い戦って進んでまいりたいと考えております。

今年も協会は「開かれた協会」を目指し活動を推進してまいります。そのために協会関係者をはじめ多くのサッカーファミリーの力を貸して下さいますよう、切にお祈り申し上げます。

最後に、会員の皆様にとりまして本年が更なる飛躍の年になりますよう心からご祈念申し上げます。また、協会の事業推進にご支援賜ります日本サッカー協会・北信越サッカー協会・新潟県各自治体・関係企業及び県内サッカーファミリーの皆様

が認定され整備事業が開始されました。今春の竣工時には多くの皆

一般社団法人新潟県サッカー協会
専務理事 中澤雄一



新年あけましておめでとうございます。昨年中は皆様よりひとかたならぬご支援、ご尽力により、予定された数多くの事業を無事遂行することが出来ました。心より感謝申し上げます。

下越地区では、アルビレックス新潟レディース、JAPANSoccer、JAPANSoccer、また地域の皆さまにご協力いただき、今年度も女子選抜のプレーする機会に指導者を派遣し、サッカーの楽しさを伝える活動や、レベルアップを図る活動を継続的に行ってまいりました。

取り組みとしては、アルビレックス新潟レディースのホームゲーム時にレディース／ガールズフェスティバルを開催し、日本最高峰の女子サッカーを肌で感じてもらう機会を作りました。

取得した結果を残して、輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。

今年も「開かれた協会」を目指し、協会諸活動を推進してまいります。皆様一人一人の力を結集し、新潟のスポーツ界をけん引できる組織でありたいと思っております。そのために協会の関係者のみならず、多くのサッカーファミリーの皆様のお力添えをお願い申し上げます。

普及活動と今度の取り組みについて

下越地区女子委員長 繁田真名美

ビーチサッカーのできるまち 柏崎

Pro Beach Soccer Club Fusion
代表兼GM 藤本 晴久

の戦いを応援することができるとなりました。またアルビレックス新潟レディースにおいては皇后杯4度目の決勝戦に進出し惜しくもPK戦の末敗れましたが、準優勝という輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。

取得した結果を残して、輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。

取得した結果を残して、輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。

取得した結果を残して、輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。

取得した結果を残して、輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。

昨年1月のU-15フットサルを皮切りに、U-18フットサル、ビーチサッカーとして第71回希望郷岩手国体での女子選抜チームおよびサッカー競技総合優勝と数多くの日本のタイトルを獲得することができた一年でした。正直なところ予想以上の結果でしたが、多くのサッカーファミリーの皆様と喜びを共有することができ大変うれしく思っております。この好成績は一朝一夕で達成できたものではなく、これまでの関係者の努力の積み重ねによるものであることは言うまでもありません。指導者はじめ関係各位に改めて敬意を表します。

取得した結果を残して、輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。

取得した結果を残して、輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。

取得した結果を残して、輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。

取得した結果を残して、輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。

県協会・地区協会 合同会議の報告

新潟県サッカー協会の皆様へ

取得した結果を残して、輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。

取得した結果を残して、輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。

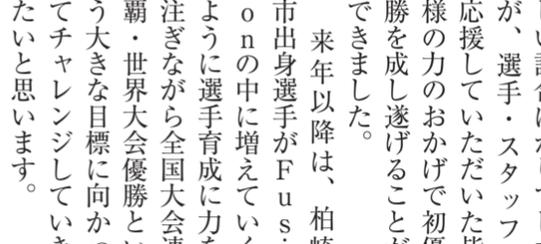
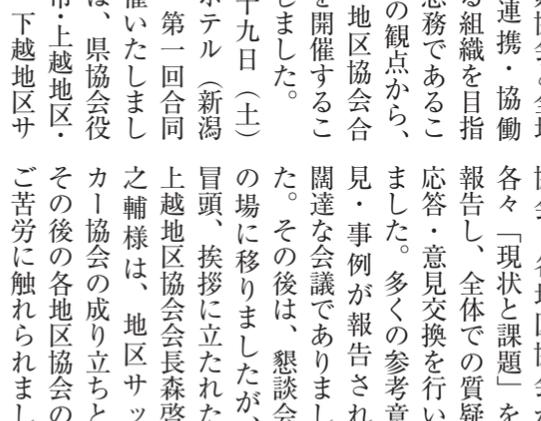
取得した結果を残して、輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。

取得した結果を残して、輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。

取得した結果を残して、輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。

取得した結果を残して、輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。

取得した結果を残して、輝かしい結果を残していただきました。男女とも今年さらには新潟のサッカーファミリーを熱くしてくれる戦いを期待しております。



僕の目標 ★★★★★★★★

グランセナ新潟FC ジュニア 長谷川 紡

僕には目標があります。まず、右足と左足が使える選手になることです。今年 6 年生になるのに左足が全然使えず左足にボールが来てもすぐにとられたり、右足にもちかえたりしてプレーすることが多いです。なのでこれからは、左足を使う機会を増やして両足が使える選手になり、チームのゲームメーカーになりたいです。次にオフの部分です。オフでは使っているところが汚く、他のチームよりすごく差があります。他にもいろいろな人に迷惑をかけてしまいます。それが勝てるチームと勝てないチームの差だと思つので、オフからしっかり出来るチームにしてチビリンピックの全国大会で優勝したいです。

最後に目標ではないけれど感謝していることがあります。それはチームメート、応援してくれる人たち、そして家族です。チームメートはいつも優しく支えてくれるし、応援してくれる人たちは背中をおしてくれるし、家族はお弁当や送迎をしてくれるからすごく感謝しています。この感謝の気持ちをわすれずにこれからプレーしていき、楽しんでサッカーをやりたいです。

今年がんばりたいこと ★★★★★★★★

真砂 402 JSC 3 年 鷲尾 美紅

わたしが今年がんばりたいことは大きく分けて三つあります。

一つ目は、生活面です。家の人や担任の先生の言うことをよく聞いて、早ね早おきをするなどきそく正しい生活を心がけ、また好ききらいをしないでたくさんごはんを食べてかぜをひかないようにしたいです。

二つ目は、サッカーのことです。サッカークラブの代表や監督、コーチの話をよく聞いて一生けん命練習して上手になりたいです。そのためにまずボールリフティングを五十回以上できるようにしたいです。そしてチームのみんなとなかよくしてたくさん試合に勝ちたいです。

三つ目は、勉強です。今年は 4 年生になるので毎日自主べんを四十分することをがんばります。そして苦手な算数のせいせきがよくなるようにがんばります。

この三つの目ひょうをたっせいできるようにがんばりたいです。

～夢へのチャレンジ～ ★★★★★★★★

グランセナ新潟FC ガールズ 5 年 菅野 真莉

私は四年生の時に小さななやみでクヨクヨしていました。その時「失敗をおそれずに、何事もチャレンジしなさい。」と背中を押してくれたのは父でした。

小さなころから澤選手にあこがれていて、サッカーを始めた今、もっと早く始めれば良かったと後悔しています。そんな時、父から貰った澤選手の本に「夢は絶対に逃げない、夢は見るものではなく叶えるもの。」という言葉に出会いました。

今、私の夢は、澤選手のようになでしこ JAPAN で活躍できる選手になりたいことと、海外のチームでプレーをしてみたいことです。そのためには日々の練習を大切に、自分の判断で行動できること。仲間と切磋琢磨し、強いチームづくりを目指すこと。勉強もしっかりやり、英語を話せるようになることです。

サッカーが出来る喜びと、感謝の気持ちを忘れることなく、夢に向かってチャレンジしていきます。

将来の夢 ★★★★★★★★

新潟市立南浜中学校 有田 光来

僕の夢はプロサッカー選手になり、世界で活躍することだ。

僕には、プロサッカー選手の兄達がいて、小さいときから兄達の試合を見に行く機会がたくさんあり、自然とサッカーに興味を沸いた。兄達とは、毎日サッカーをして遊んでいた。サッカーをしているときの兄はすごくいい顔をしていた。そんな兄達にあこがれて本気でサッカーに打ち込むようになった。

一番上の兄が全国高校サッカー選手権大会に出場したとき、「自分も高校生になったら選手権に出たい」と強く思った。中学校では成長することはできたけど結果がついてこず、悔し涙を流した。その悔しさをバネに、高校では全国高校サッカー選手権大会に必ず出場して、全国優勝することで、夢の実現に向けて一歩でも近づきたい。

夢を実現し、プロサッカー選手になったら、かつての僕のような子供にも、サッカーをあまり知らない子供にも、夢や希望を与えられるような選手になる。僕の夢は昔から変わらない。必ず実現するという強い決意をもってこれまでに以上にサッカーに励みたいと思う。

ぼくの・わたしの

夢

ぼくの夢 ★★★★★★★★

吉田サッカークラブ 久住 晴人

僕の将来の夢は、得意なスピードあるドリブル突破を活かして、日本代表や海外で活躍できるサッカー選手になることです。そうなるため、今、自分ができていることを考えました。

1 つ目は、コーチからのアドバイスをしっかり聞くことです。

2 つ目は、人のプレーを見て自分に無いところを取り入れていくことです。

3 つ目は、自分や味方のプレーが上手いかななくても、あきらめずにチャレンジを続けることです。

4 つ目は、チームが苦しい状況でも自分から声を出し、チームの雰囲気の良い方向に変えられる選手になることです。

この中で 3 つ目と 4 つ目は、今まで僕がなかなかできなかったことです。今までの僕は、自分や味方のプレーが上手いかなと怒ってしまうことが多くありました。これからはそんな自分を変えていきたいです。

今年は、チビリンピック北信越大会や全少大会があります。仲間と協力して全国大会への切符をぜったいつかみたいです。

将来の夢 ★★★★★★★★

エボルブジュニアユース U15 主将 田中 想人

僕の今の夢は「高校サッカーで全国大会出場」と「国体メンバーに選ばれる」ことです。高校サッカーでは体格やスピードが全然違います。今の僕は、身体も弱くてスピードもありません。判断も悪く、監督・コーチから指導を受けることが多いです。今年は、チームで初の全国大会に出場した経験から、全国の舞台へは、簡単に出場できることではないと分かりました。

また、国体メンバーになり、本選に出場することも、まだまだ自分の中で、とても難しいと感じています。国体候補として参加した大会では自分の力不足を感じ、新潟の代表として何もできない時間も多くありました。

この 2 つの夢を叶える為には、高校へ進学し、より厳しい環境で自分自身を鍛えていきたいと思つています。また、サッカーも大切ですが、学校の勉強も真剣に取り組み、充実した学校生活を送ってきたいです。

夢はなでしこ ★★★★★★★★

アルビレックス新潟レディース U-15 1 年 相馬 帆花

私の将来の夢は、なでしこジャパンの一員としてプレーすることです。そして、その夢に少しでも近づけるように今年の目標を立てました。

5 月から始まる県大会、北信越大会で優勝し全国大会に出場することです。そのために、常に試合を意識して日々のトレーニングを行い、県大会までの 4 ヶ月を有効的に使いたいです。また、ナショナルトレセンに参加することも目標としています。私は一度バックアップでとても悔しい思いをしました。その時に、小学生の頃のコーチに「ただ頑張ってもダメな時もある。何をどう頑張るか考えていこう。その悔しさを忘れるくらい成長して今の自分を見返してやれ」という、とても大切な言葉をもらいました。今まで、何度もこの言葉に励まされてきました。そして、いつも私を支えてくれる家族、指導者や恵まれた練習環境があることに感謝して、夢を実現できるようにこれからも大好きなサッカーを続けていきたいです。

またも神戸の壁！

第38回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会

十二月二十五日(日)に行われた第38回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会決勝戦に進出したアルビレックス新潟レディースは、前回に引き続きINAC神戸レオネッサと決勝戦を戦いましたが、延長戦に持ち込んだものの、PK戦の末惜しくも敗退しました。

新潟は、前半怒涛の攻撃を見せるも決定機を活かせず終了。後半は勢いを増す神戸に対し豊富な運動量と連携した守りで凌ぎ、延長戦も両チームスコアレスのままPK戦となりました。PK戦もサドネスまで続く拮抗した戦いとなりましたが、相手GKの活躍の前に惜しくも敗れ、2年続けての準優勝となりました。過去、4度の決勝戦はいずれもINAC神戸との戦いに敗れており悔しい結末であります。昨季のリーグ戦は1勝1敗であり、決して苦手ではないと思うのですが、優勝に向けて何か課題があるのかもしれない。

しかし、2年連続の準優勝は見事であり、特に今大会で見せた新潟らしい献身的なプレイは、次回大会に希望をつなぐ見事な戦いでありました。

新潟県に女子サッカー最高峰のリーグがあり、チームが存在することは誇りであり、多くの女子選手の憧れです。大いなる期待と希望を胸に次回大会こそ優勝し、女子サッカー界の頂点に立つてほしいと願います。



© ALBIREX NIIGATA



© ALBIREX NIIGATA

第38回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会 試合結果

2回戦	アルビレックス新潟レディース	4-1	オルカ鴨川 (関東/千葉)
3回戦	アルビレックス新潟レディース	1-0	ちふれASエルファン埼玉 (2部)
準々決勝	アルビレックス新潟レディース	2-0	AC長野パルセイロ・レディース (1部)
準決勝	アルビレックス新潟レディース	1-0	日テレ・ベレーザ (1部)
決勝	アルビレックス新潟レディース	0-0	INAC神戸レオネッサ (1部)

(PK 4-5)

新潟県勢試合結果

1回戦	JAPANサッカーカレッジ	0-3	東洋大学 (関東)
1回戦	新潟医療福祉大学	0-1	大商学園高校 (関西)

希望郷いわて国体 優勝祝賀会の報告

十一月二十五日(金)新潟県映ホテル(新潟市)にて、自治体・国体関係者・サッカー協会関係者及び選手等約100名が出席し、「第71回国民体育大会サッカー競技総合優勝祝賀会」を開催いたしました。

本国体では、男女総合第1位となり、種別では女子第1位、成年男子第4位、少年男子第5位でありました。獲得ポイント120ポイントは競技別全国第1位であり、新潟県の国体総合17位に大きく寄与いたしました。

式典においては、来賓の祝辞に次ぎ、各種別の選手・監督に表彰状が授与されました。選手の誇らしくも緊張した姿が大変印象的であり、合間に見せる選手間の掛け合いがチームの結束の強さを見せておりました。表彰後、選手を代表し女子選抜の左山桃子選手の謝辞があり式典を終了いたしました。



祝賀会(選手は別室にて慰労食事を開催)は、関係各位の祝辞の後、新潟県サッカー協会技術委員長の総括報告と各種別監督の報告が行われ、盛会のうちを終了いたしました。

多くの皆様から国体出場チームに激励と慰労の言葉を頂戴し、選手には今後のますますの活躍に期待が寄せられました。同時に、新潟県サッカー協会に、次回国体に向けた更なる強化と将来に向け継続した普及・育成に向けた要請をいただきました。



第25回全日本高校女子サッカー選手権大会 試合結果

12月30日(金) 一回戦 13:45~
三木総合防災公園

開志学園 JSC 1 (0-4) 5 藤枝順心

全日本高校女子サッカー選手権大会
開志学園 JSC 高等部

第95回全国高校サッカー選手権大会 試合結果

12月31日(土) 一回戦 14:10~
浦和駒場スタジアム

帝京長岡 1 (0-0) 1 徳島市立
4PK 5

全国高校サッカー選手権大会
帝京長岡高等学校